

私たちの暮らしと町の未来のあり方に関する「私の声」

私たち新成人の中には、社会人として働いている人、大学や専門学校等に通う人、町内や県内に残っている人もいれば、県外に出て行っている人もいます。

飯豊町はきれいで暮らしやすい環境の町だと思っています。

住み良い飯豊町の暮らしが変わらずにあることで、町に帰ってきた人をふるさとに温かく迎える町の豊かさが感じられます。今は町外、県外に行っている人が多いですが、飯豊町に戻ってくることや住んだりすることが、一番の町への恩返しになるのではないのでしょうか。

僅かかもしれませんが新成人として飯豊町に関わり、若い力を活かして恩返ししたいと考えています。

飯豊町成人式実行委員会 実行委員長 青木 天翔

何千年も前からある「人」という文字。それが簡単になくなるわけがありません。つまりコロナはいつか終わるといことです。「人」という文字が消えるわけがないのですから。人は人と寄り添ってきたからこそ「人」なのですから。だからこそ今、どのようなカタチで人と繋がれば良いのか、一緒に考えませんか？

世界がひっくり返った今だからこそ、新たな「人」との繋がり方を。

(本当は人という字は横から見た人の姿を表したものですが、人と離れている今はその解釈を変えても良いかと)

脚本家 高橋 幹子
(飯豊町出身)

長期化する新型コロナウイルス感染症への対策において、私たちは新たな生活様式の導入や働き方の見直し、生活や行動の制限や変化が求められています。影響が長期化するなかで、私たちはこれまでの考え方や行動を抜本的に改め、新たな環境にしなやかに適応していかなければなりません。

大切な人とこれからもこの町で暮らしていくために何が必要か、何を大事にしたか、このような困難な状況だからこそ、町の未来を考えなければなりません。飯豊の豊かさ、飯豊で暮らす価値を考えるため、町の未来への「あなたの声」をお聞かせください。

飯豊町新型コロナウイルス対策本部